

Ⅳ 発達障害の方とご家族の方を対象とした調査

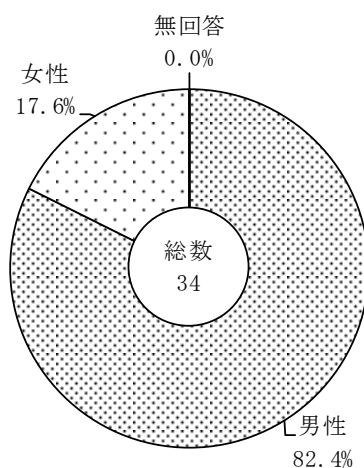
1 ご本人とご家族について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお聞きします。(あてはまるものひとつに○)

「男性」が82.4%、「女性」が17.6%と、「男性」が多くなっています。

問1 性別

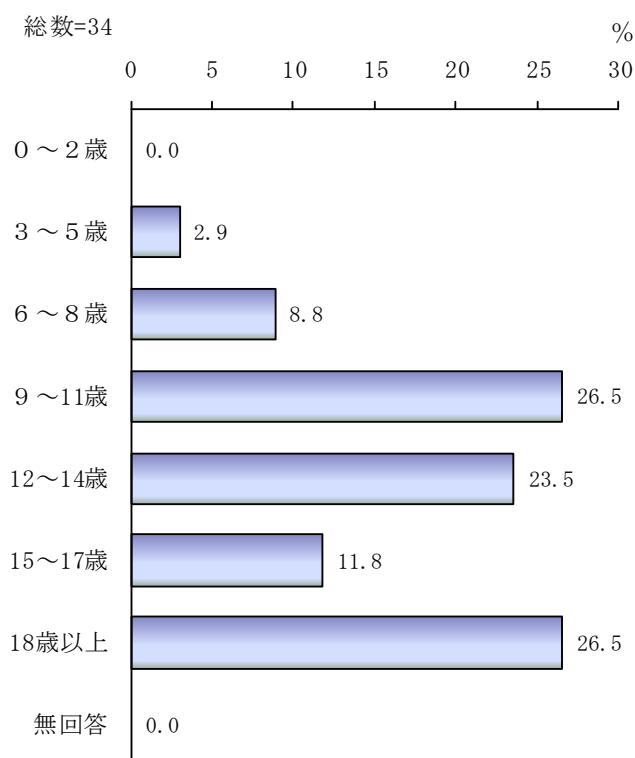


(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお聞きします。平成22年1月1日現在の年齢をご記入ください。

「9～11歳」と「18歳以上」がそれぞれ26.5%、「12～14歳」が23.5%となっています。

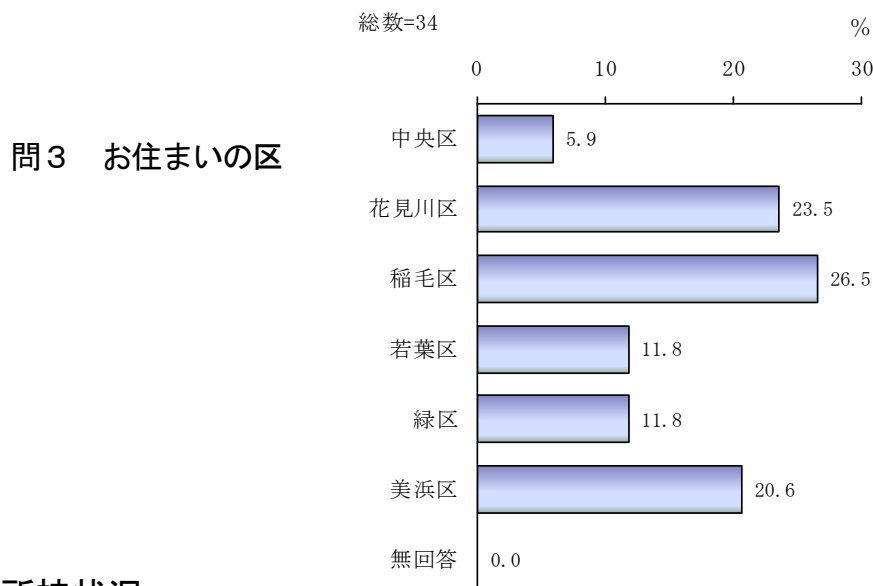
問2 年齢



(3) お住まいの区

問3 あなたがお住まいの区をお聞きます。(あてはまるものひとつに○)

「中央区」が5.9%、「花見川区」が23.5%、「稲毛区」が26.5%、「若葉区」と「緑区」がそれぞれ11.8%、「美浜区」が20.6%となっています。

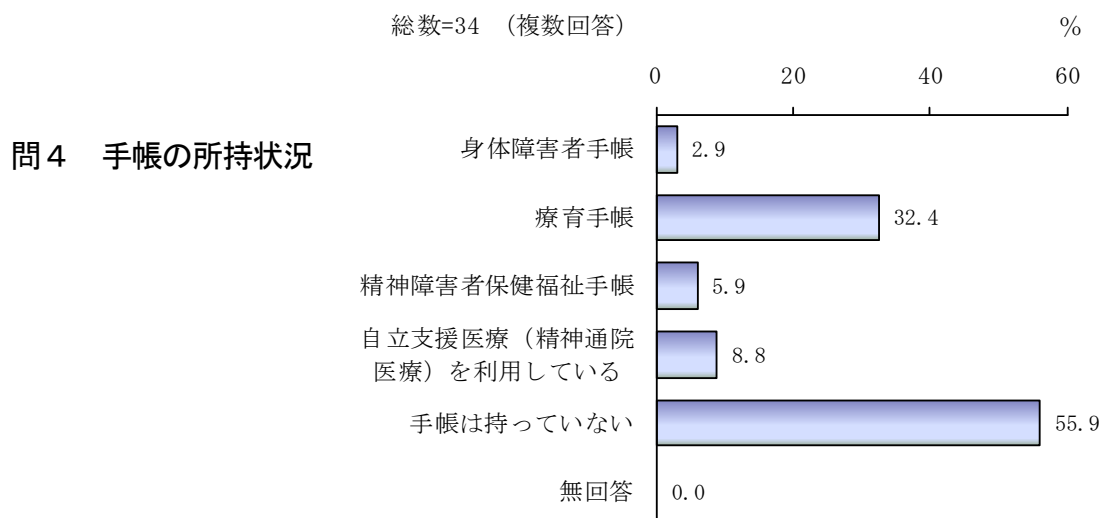


(4) 手帳の所持状況

問4 あなたの持っている手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用の有無をお聞きます。あてはまる番号に○印をつけ、手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。

「療育手帳」が32.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が5.9%となっています。「手帳は持っていない」は55.9%でした。

身体障害者手帳をお持ちの方は1人で、等級は1級でした。療育手帳をお持ちの方は11人で、程度は「Bの2」が9人、「Bの1」が2人となっています。精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は2人で、等級はいずれも2級でした。

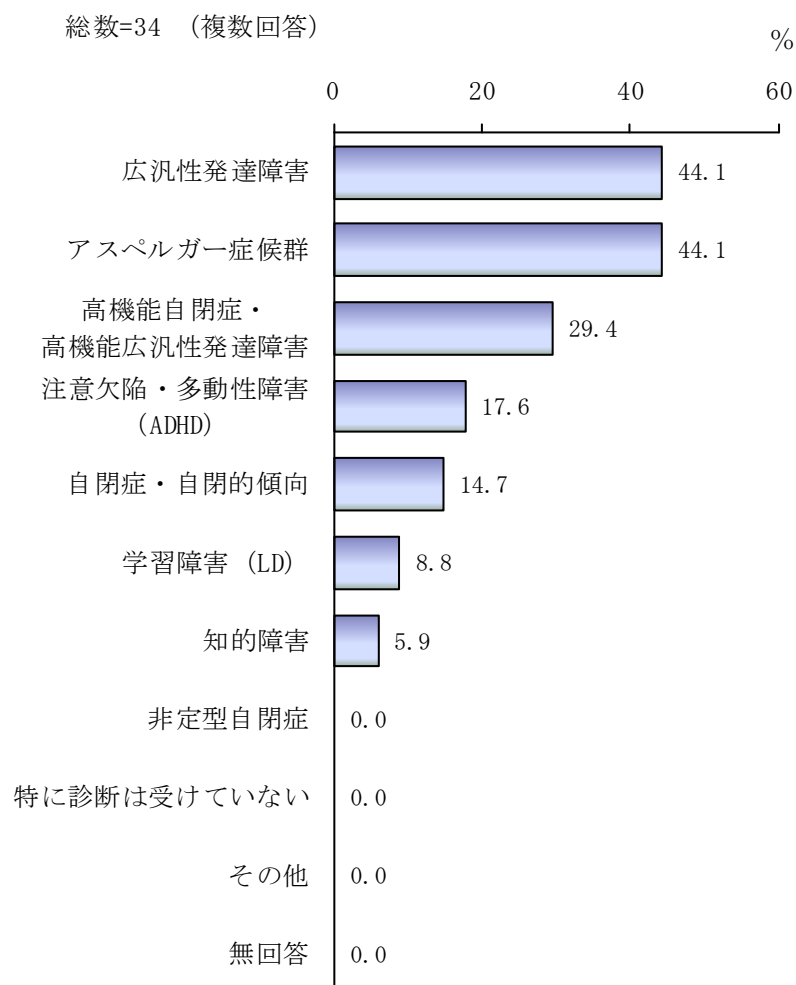


（５）発達障害の種類

問５ あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。（あてはまるものすべてに○）

「広汎性発達障害」と「アスペルガー症候群」がそれぞれ 44.1%、「高機能自閉症・高機能広汎性発達障害」が 29.4%となっています。

問５ 発達障害の種類

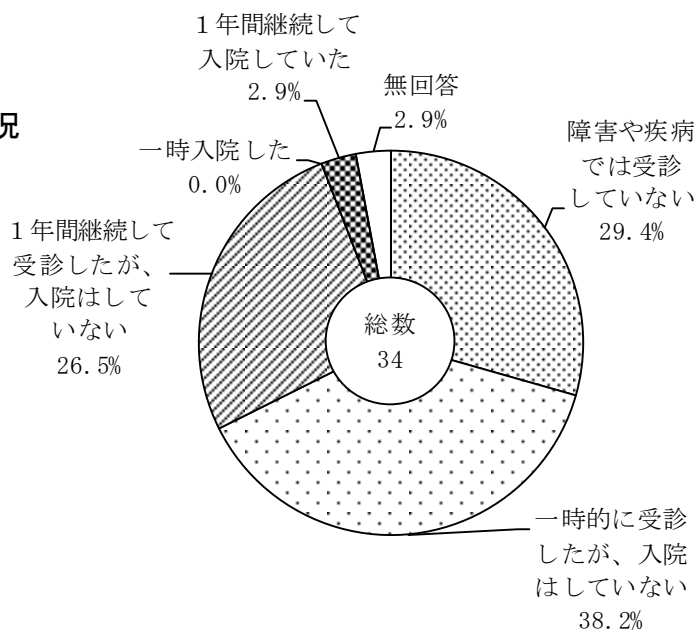


(6) 医療機関の受診状況

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(あてはまるものひとつに○)

「一時的に受診したが、入院はしていない」が38.2%、「障害や疾病では受診していない」が29.4%、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が26.5%となっています。

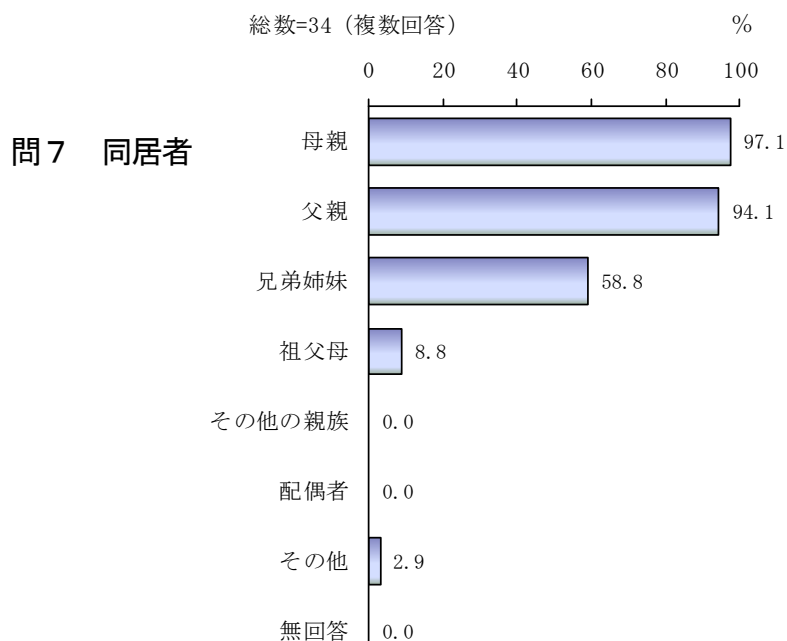
問6 医療機関の受診状況



(7) 同居者

問7 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「母親」が97.1%、「父親」が94.1%となっています。

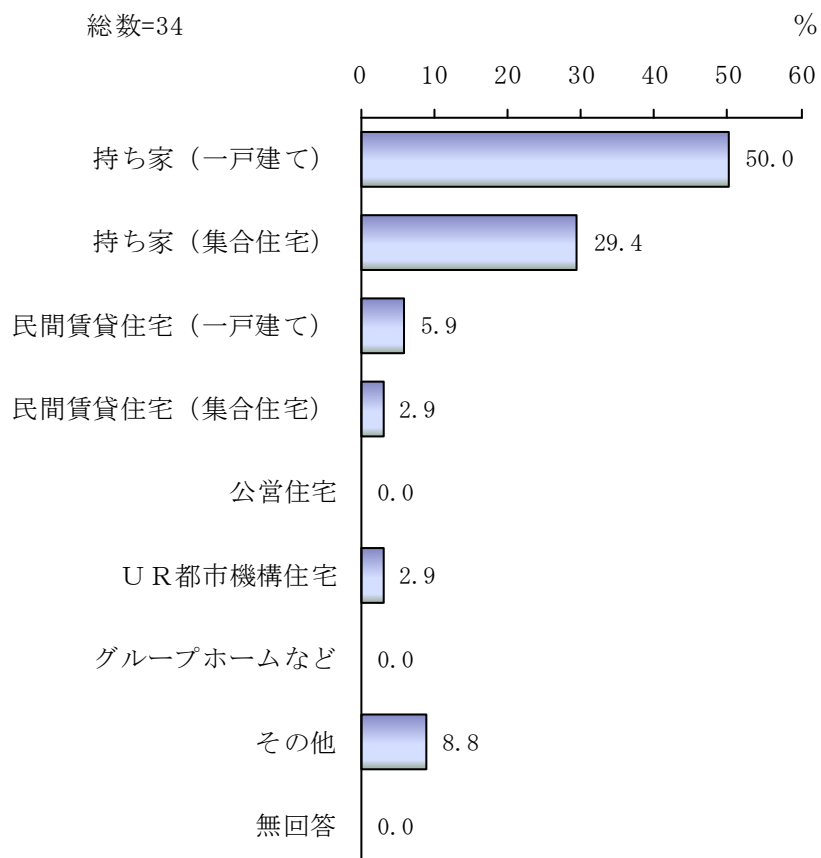


（８）住まいの種類

問８ あなたのお住まいの種類をお聞きます。（あてはまるものひとつに○）

「持ち家（一戸建て）」が50.0%、「持ち家（集合住宅）」が29.4%となっています。

問８ 住まいの種類



2 日常生活について

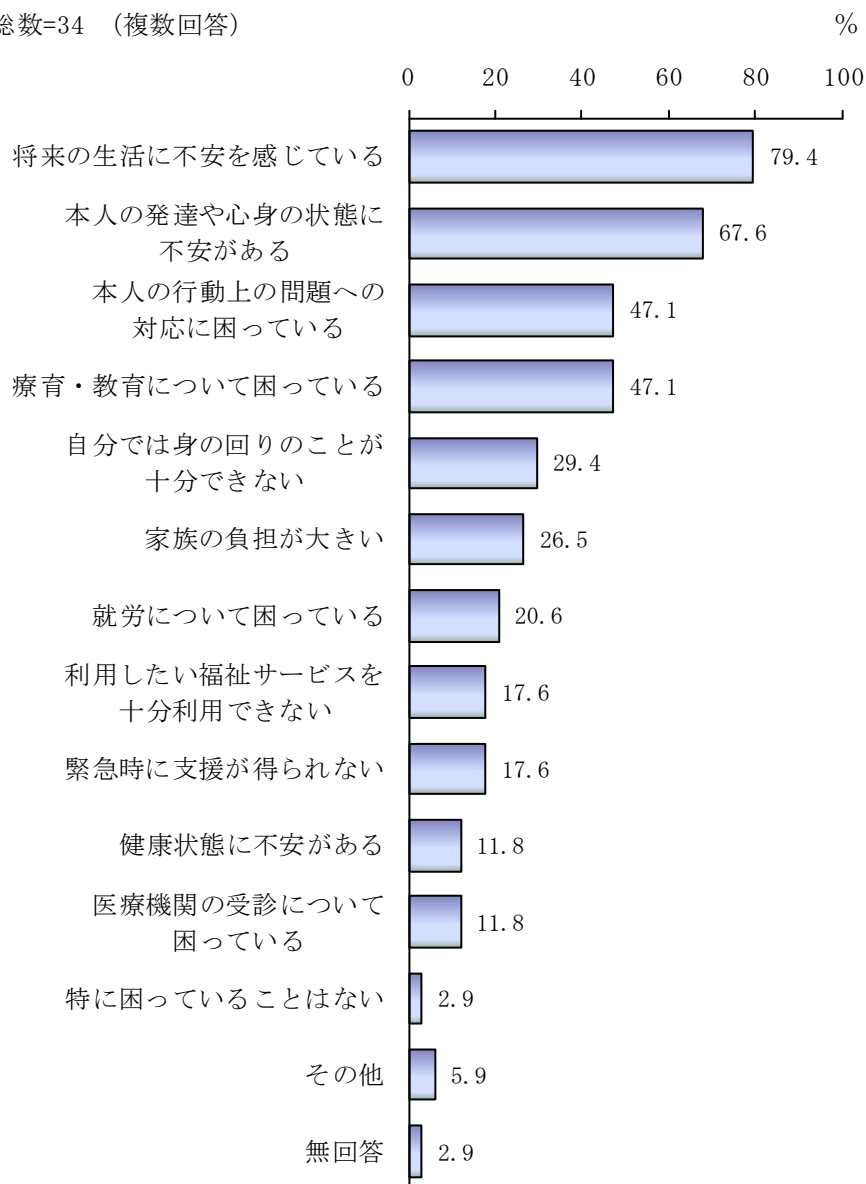
(1) 日常生活で困っていること

問 9 あなたやご家族の方が、日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「将来の生活に不安を感じている」が 79.4%、「本人の発達や心身の状態に不安がある」が 67.6%、「本人の行動上の問題への対応に困っている」と「療育・教育について困っている」がそれぞれ 47.1%となっています。

問9 日常生活で困っていること

総数=34 (複数回答)

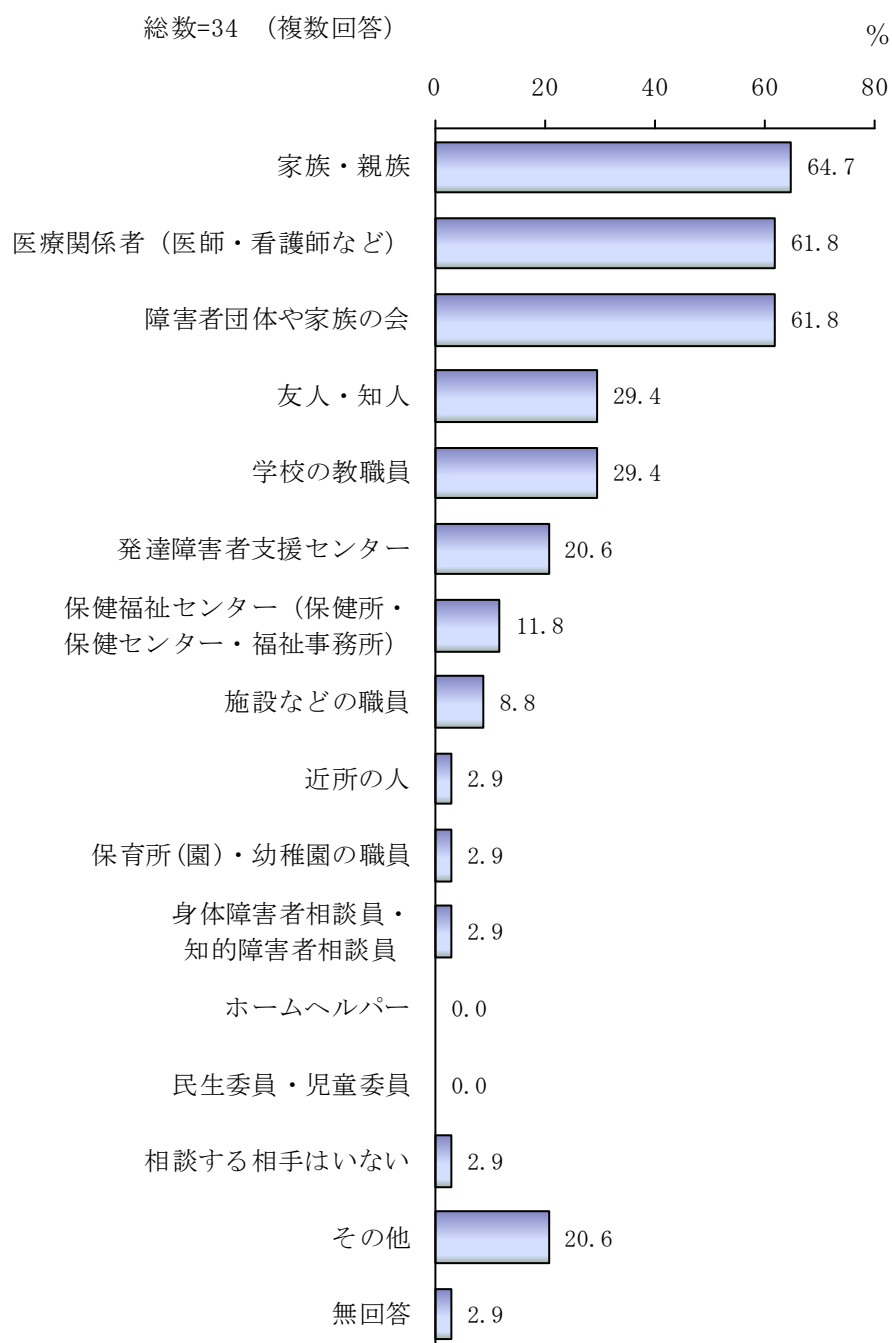


(2) 困ったときの相談先

問 10 あなたやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「家族・親族」が 64.7%、「医療関係者（医師・看護師など）」と「障害者団体や家族の会」がそれぞれ 61.8%となっています。「その他」では、「養護教育センター」などの回答がありました。

問 10 困ったときの相談先

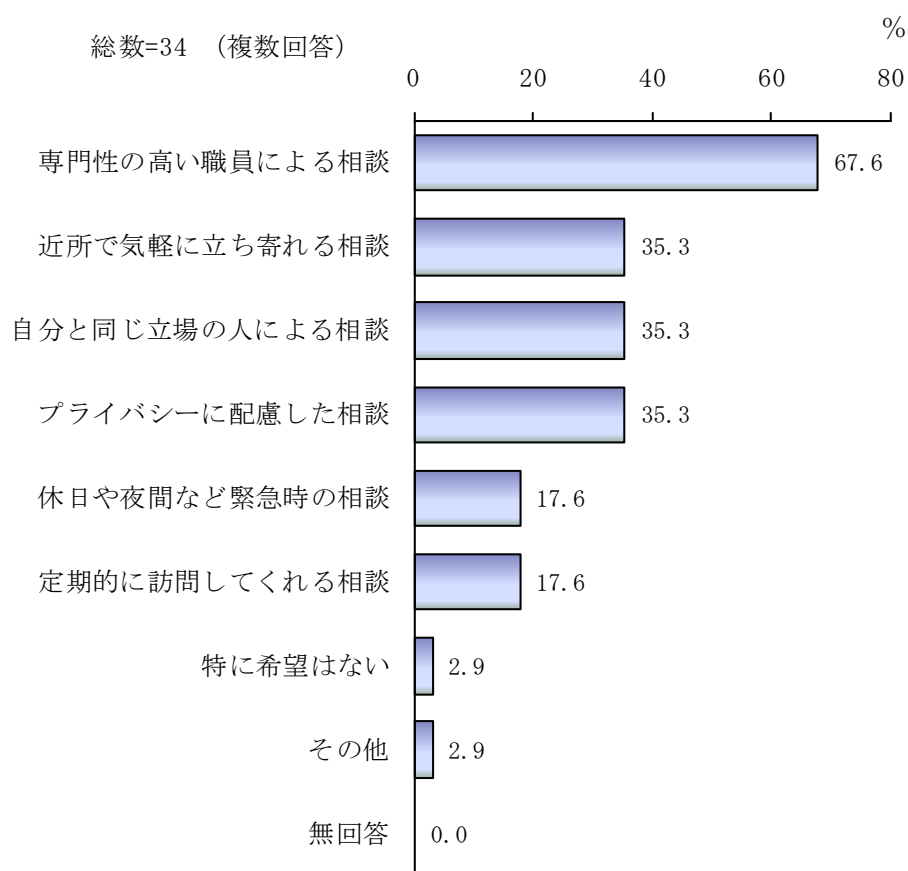


(3) 希望する相談制度

問11 あなたやご家族の方は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「専門性の高い職員による相談」が 67.6%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」、「自分と同じ立場の人による相談」、「プライバシーに配慮した相談」がそれぞれ 35.3%となっています。

問11 希望する相談制度



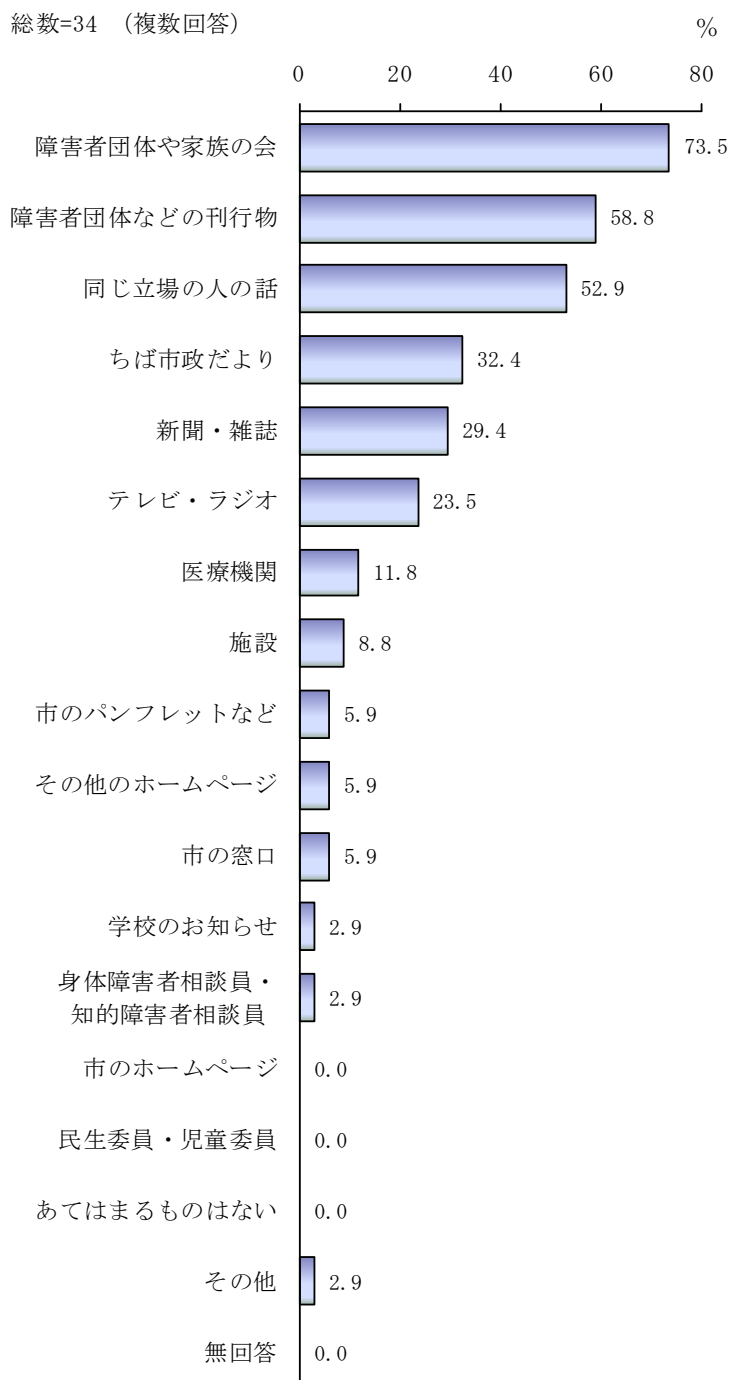
(4) 福祉情報の入手先

問12 あなたやご家族の方は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害者団体や家族の会」が 73.5%、「障害者団体などの刊行物」が 58.8%、「同じ立場の人の話」が 52.9%となっています。

問12 福祉情報の入手先

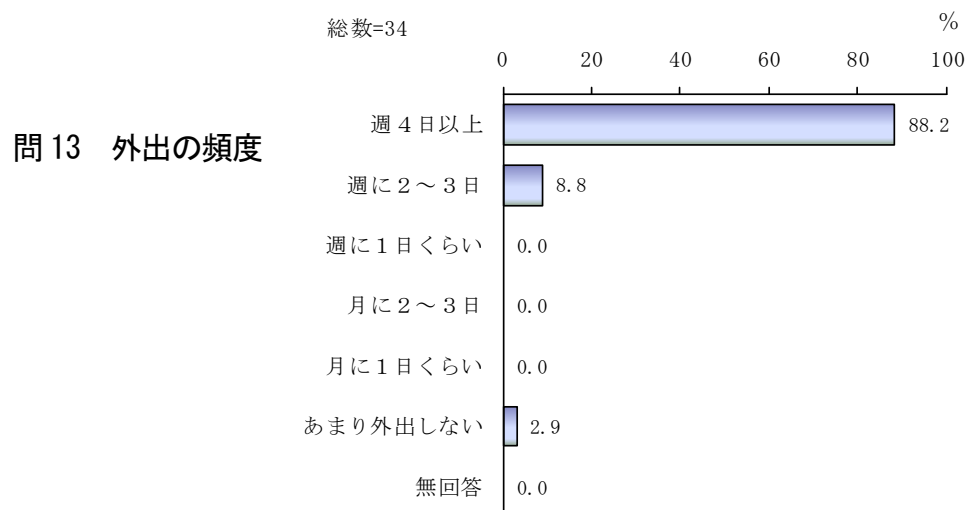
総数=34 (複数回答)



（５）外出の頻度

問 13 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（あてはまるものひとつに○）

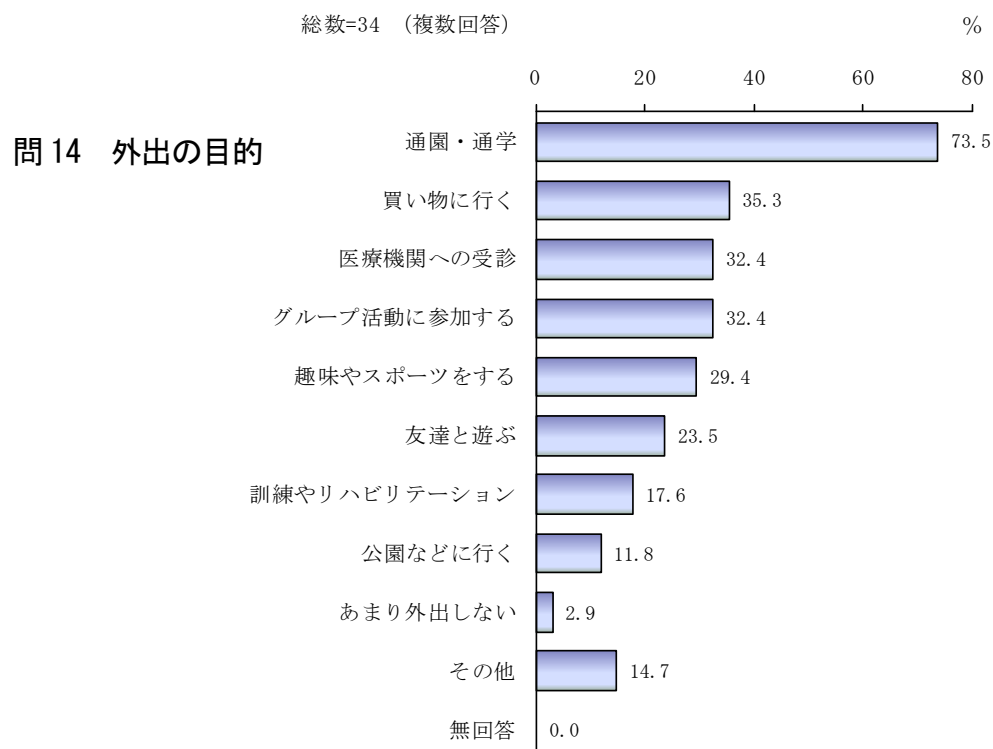
「週4日以上」が88.2%と、特に多くなっています。



（６）外出の目的

問 14 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

「通園・通学」が 73.5%、「買い物に行く」が 35.3%、「医療機関への受診」と「グループ活動に参加する」がそれぞれ 32.4%となっています。

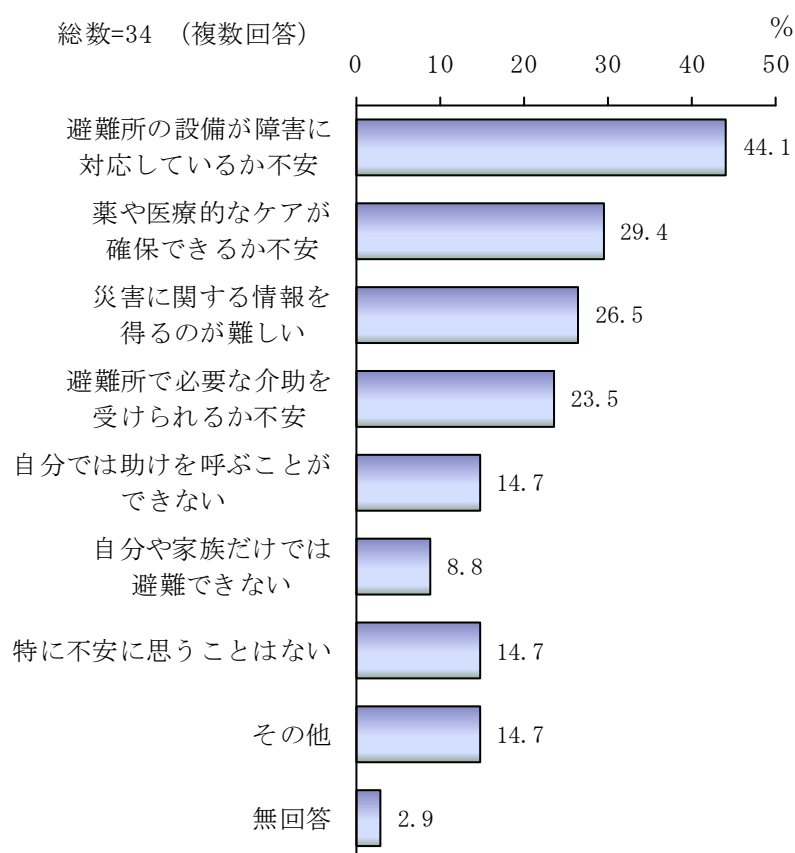


（７）災害時不安に思うこと

問 15 あなたやご家族の方は、地震などの災害が起きたときについて、どのようなことを不安に思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が 44.1%、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が 29.4%、「災害に関する情報を得るのが難しい」が 26.5%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」が 23.5%となっています。

問 15 災害時不安に思うこと

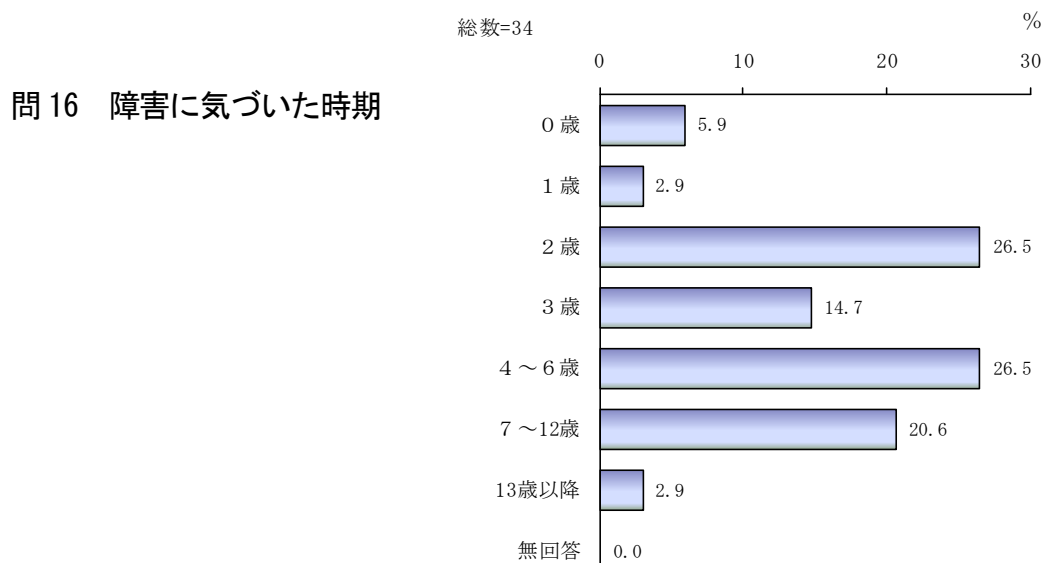


3 療育について

(1) 障害に気づいた時期

問 16 ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(あてはまるものひとつに○)

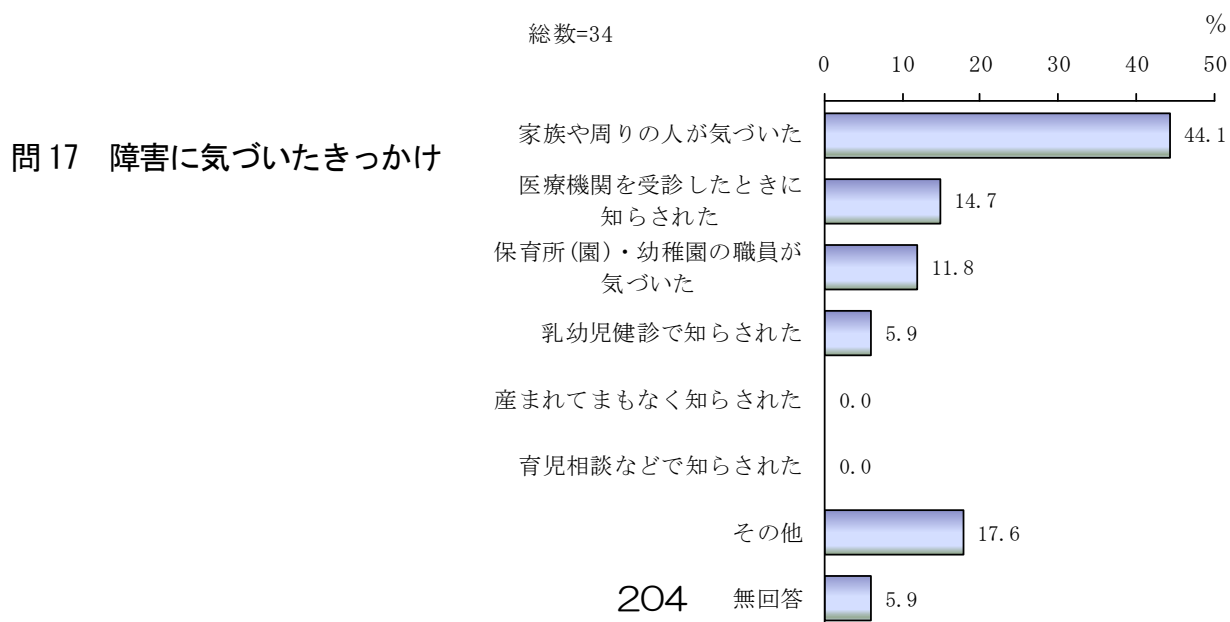
「2歳」と「4～6歳」がそれぞれ26.5%、「7～12歳」が20.6%となっています。



(2) 障害に気づいたきっかけ

問 17 ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(最もあてはまるものひとつに○)

「家族や周りの人が気づいた」が44.1%、「医療機関を受診したときに知らされた」が14.7%、「保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた」が11.8%となっています。

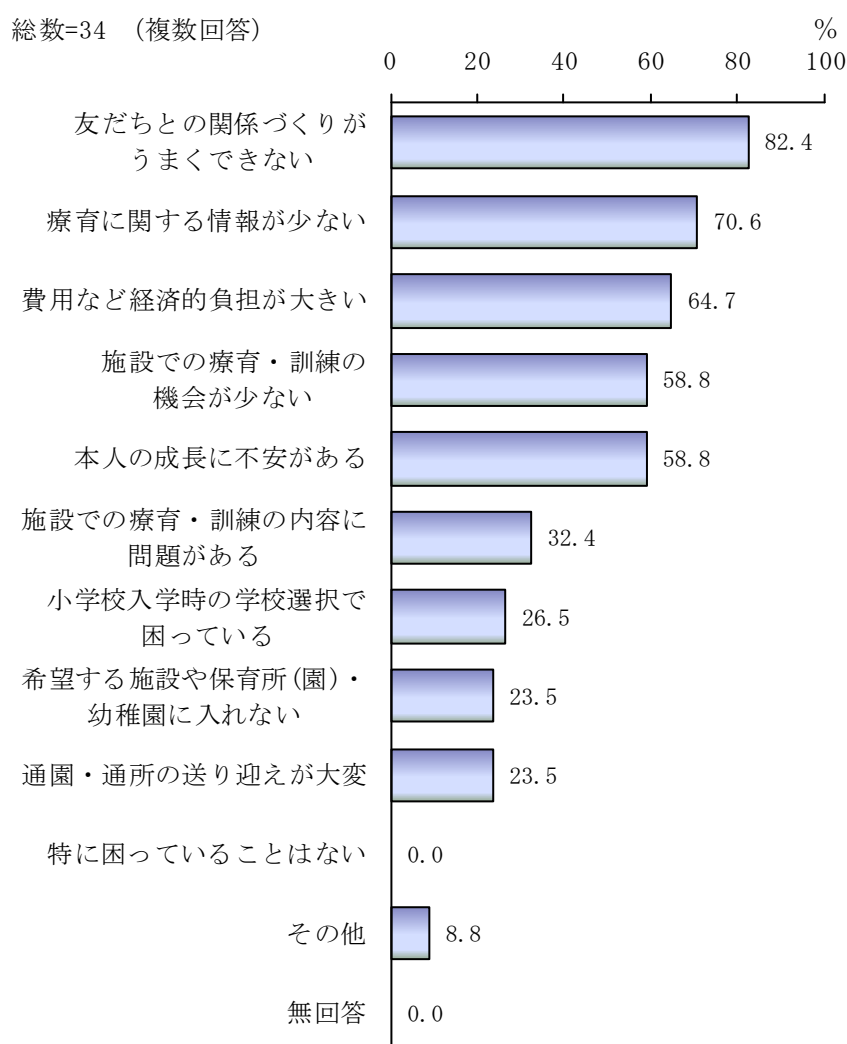


(3) 療育について困っていること

問 18 ご家族の方が、あて名のお子さんの療育について困っている（または以前困っていた）ことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「友だちとの関係づくりがうまくできない」が 82.4%、「療育に関する情報が少ない」が 70.6%、「費用など経済的負担が大きい」が 64.7%となっています。

問 18① 療育について困っていること



年齢との関係で見ると、6～11 歳では、「費用など経済的負担が大きい」が多くなっています。

問 18② 療育について困っていること（年齢）

	全体	療育に関する 情報が少ない	幼稚園に入る 希望する施設や 保育所（園）・ 施設での療育・訓練の 機会が少ない	施設での療育・訓練の 内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりが うまくできない	通園・通所の送り迎えが 大変	費用など経済的負担が 大きい	小学校入学時の学校選択 で困っている	特に困っている ことはない	その他	無回答
全体	34 100.0	24 70.6	8 23.5	20 58.8	11 32.4	20 58.8	28 82.4	8 23.5	22 64.7	9 26.5	- 8.8	-
年齢	0～5歳	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-
	6～11歳	12 100.0	9 75.0	4 33.3	9 75.0	5 41.7	7 58.3	10 83.3	3 25.0	11 91.7	3 25.0	-
	12～17歳	12 100.0	7 58.3	-	6 50.0	2 16.7	7 58.3	9 75.0	2 16.7	7 58.3	1 8.3	2 16.7
	18歳以上	9 100.0	7 77.8	4 44.4	4 44.4	3 33.3	6 66.7	8 88.9	3 33.3	4 44.4	4 44.4	1 11.1

（４）現在通っているところ（小学校入学前）

問 19 あて名の方が「小学校入学前」の保護者の方にお聞きします。現在通っているところがありますか。（あてはまるものすべてに○）

小学校入学前の方は 2 人で、「幼稚園」が 2 件、「千葉市療育センター」と「その他」がそれぞれ 1 件となっています。

（５）小学校入学時の希望

問 20 あて名の方が「小学校入学前」の保護者の方にお聞きします。あて名のお子さんが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（最もあてはまるものひとつに○）

小学校入学前の方は 2 人で、いずれも「小学校の通常学級」と回答しています。

4 学校・教育について

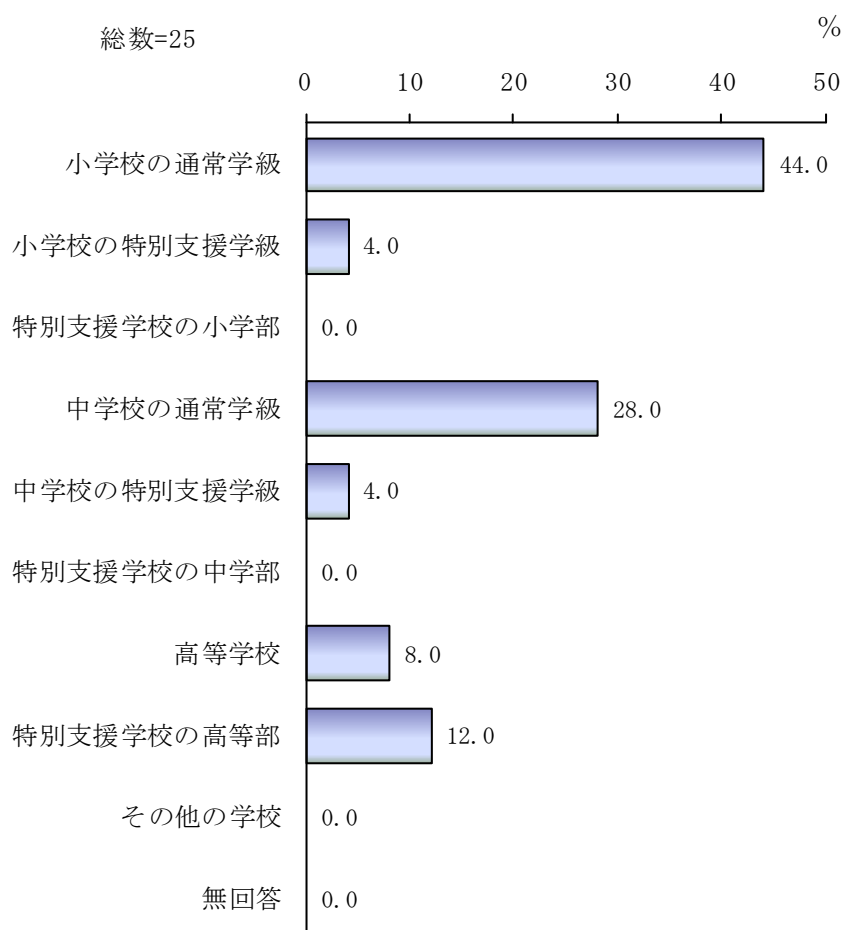
この章は、あて名の方が在学中の方にお聞きました。

(1) 現在通っているところ（在学中）

問21 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（最もあてはまるものひとつに○）

「小学校の通常学級」が44.0%、「中学校の通常学級」が28.0%となっています。

問21 現在通っているところ（在学中）



(2) 学校・教育について困っていること

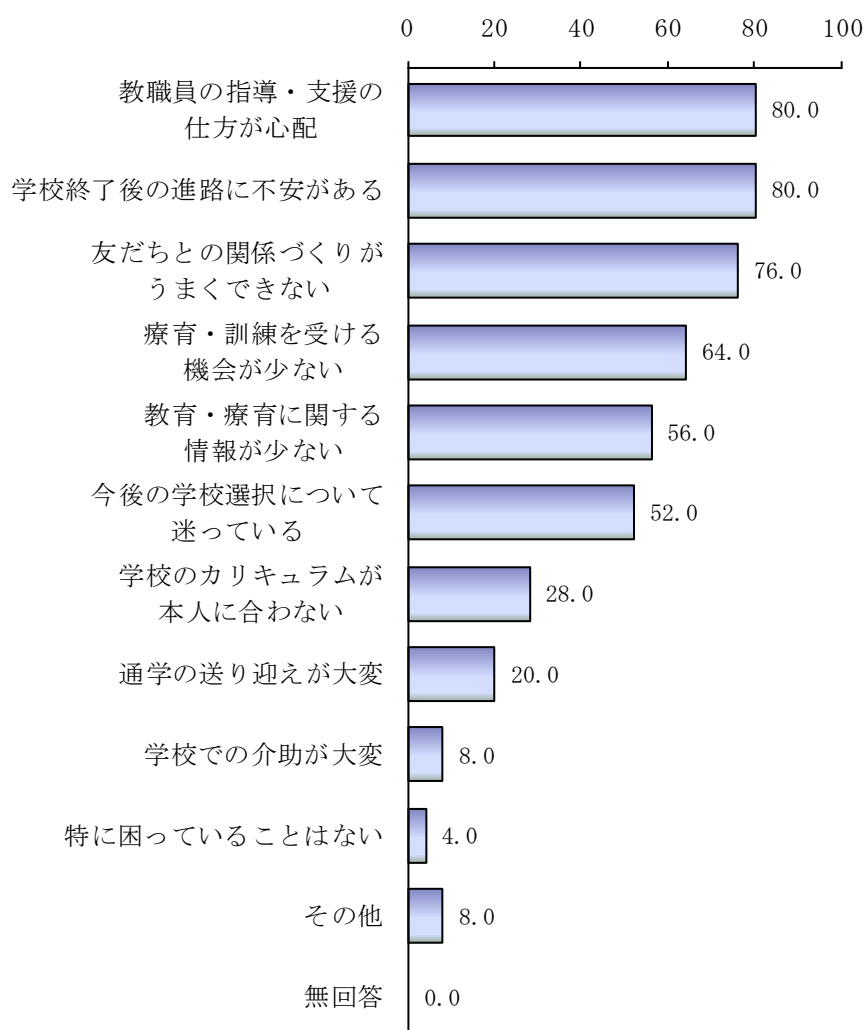
問 22 あなたやご家族の方は、学校・教育について、どのようなことで困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「教職員の指導・支援の仕方が心配」と「学校終了後の進路に不安がある」がそれぞれ 80.0%、「友だちとの関係づくりがうまくできない」が 76.0%、「療育・訓練を受ける機会が少ない」が 64.0%となっています。

問 22 学校・教育について困っていること

総数=25 (複数回答)

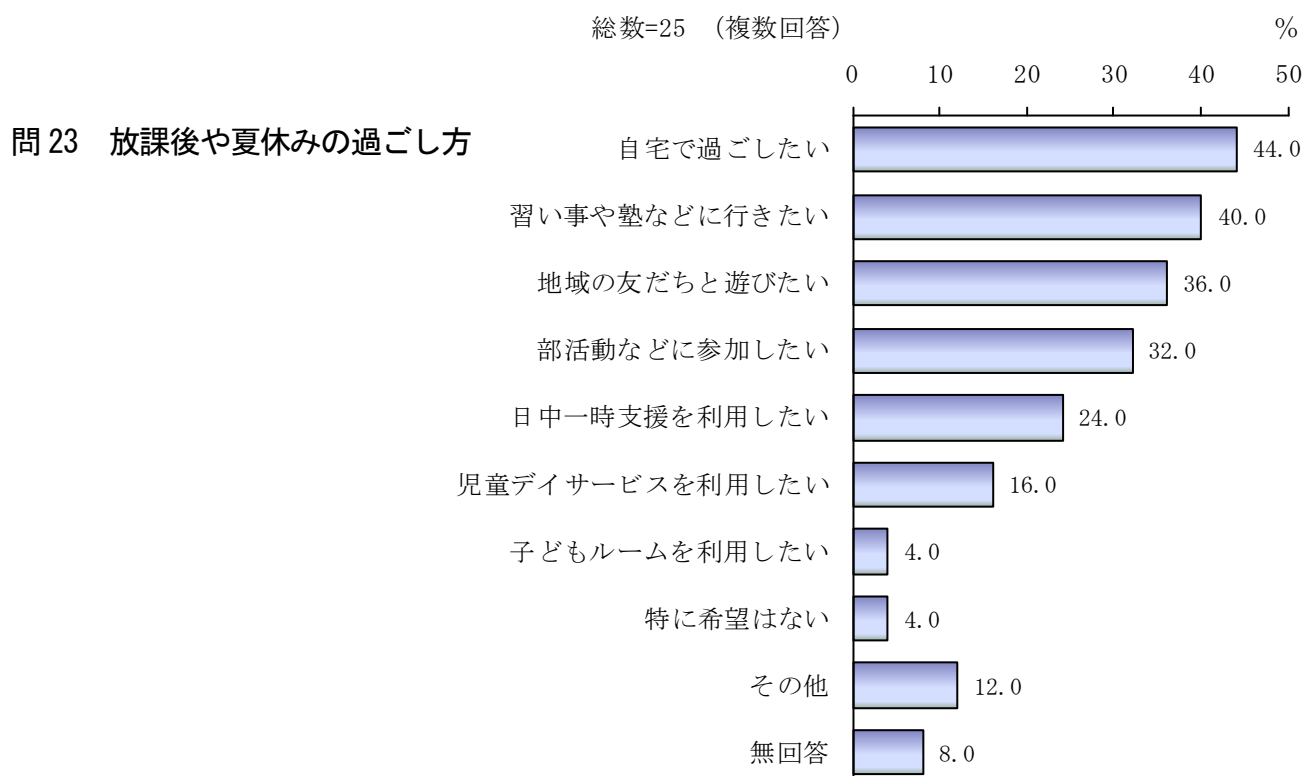
%



(3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 23 あなたやご家族の方は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅で過ごしたい」が 44.0%、「習い事や塾などに行きたい」が 40.0%、「地域の友だちと遊びたい」が 36.0%、「部活動などに参加したい」が 32.0%となっています。



(4) 中学校卒業後の進路希望

問 24 小学校(小学部)、中学校(中学部)に通っている方にお聞きします。中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(最もあてはまるものひとつに○)

「高等学校」が 75.0%と、特に多くなっています。

問 24 中学校卒業後の進路希望

	全体	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業等で就労したい	わからない	その他	無回答
全体	20 100.0	15 75.0	-	-	-	-	2 10.0	-	3 15.0

(5) 学校卒業後の進路希望

問 25 高等学校（高等部）に通っている方にお聞きします。学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（最もあてはまるものひとつに○）

高等学校・高等部に通っているのは5人で、「大学・短大に進学したい」と「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」がそれぞれ2件、「専門学校などに通いたい」が1件となっています。

5 日中活動・就労について

この章は、あて名の方が学校卒業後の方にお聞きしました。

(1) 日中の過ごし方

問 26 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。最もあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

回答があったのは6人で、「正職員として働いている」が2件、「パート・アルバイトなどで働いている」、「職業訓練中」、「就職活動中」、「その他」がそれぞれ1件となっています。

(2) 仕事をする上で困っていること

問 27 問26で「働いている（1～4番）」に○をつけた方にお聞きします。あなたが仕事をする上で困っていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

回答があったのは3人で、「職場の人間関係」が2件、「精神的な負担が大きい」、「障害に対する職場の理解不足」、「仕事の相談をする相手がいない」、「給与・工賃などの収入が少ない」がそれぞれ1件となっています。

(3) 働いていない理由

問 28 問26で「働いていない（5～7番）」に○をつけた方にお聞きします。あなたが働いていない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

問26で、「働いていない（5～7番）」に回答した方はいませんでした。

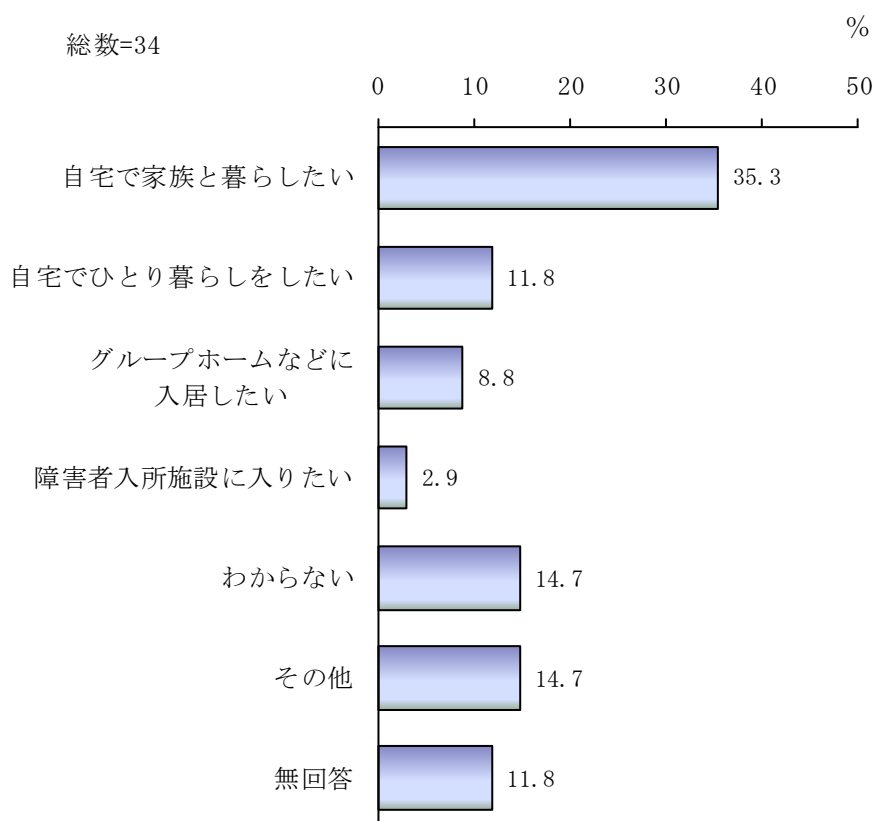
6 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 29 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(最もあてはまるものひとつに○)

「自宅で家族と暮らしたい」が 35.3%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が 11.8%、「グループホームなどに入居したい」が 8.8%となっています。

問 29 将来の暮らし方の希望

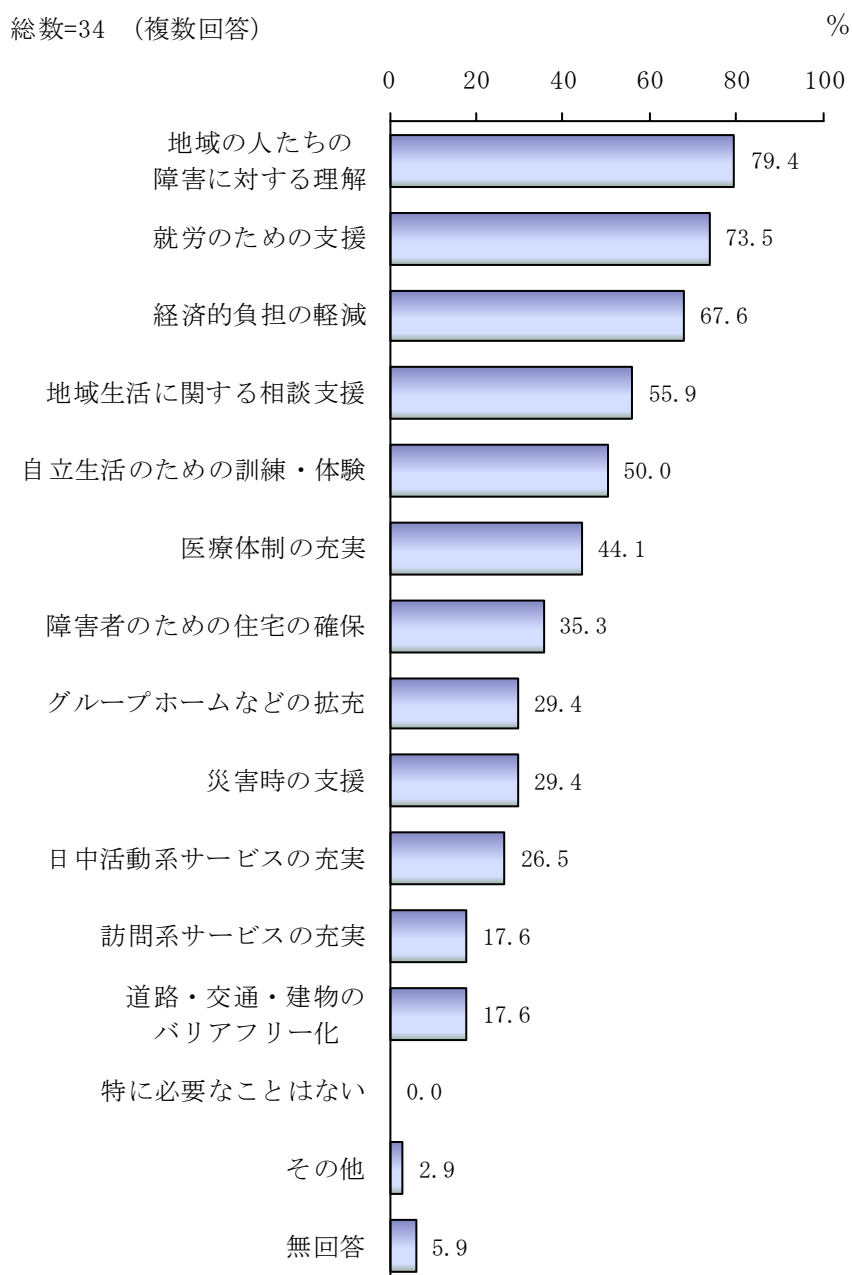


(2) 地域生活のために必要なこと

問30 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「地域の人たちの障害に対する理解」が79.4%、「就労のための支援」が73.5%、「経済的負担の軽減」が67.6%となっています。

問30 地域生活のために必要なこと

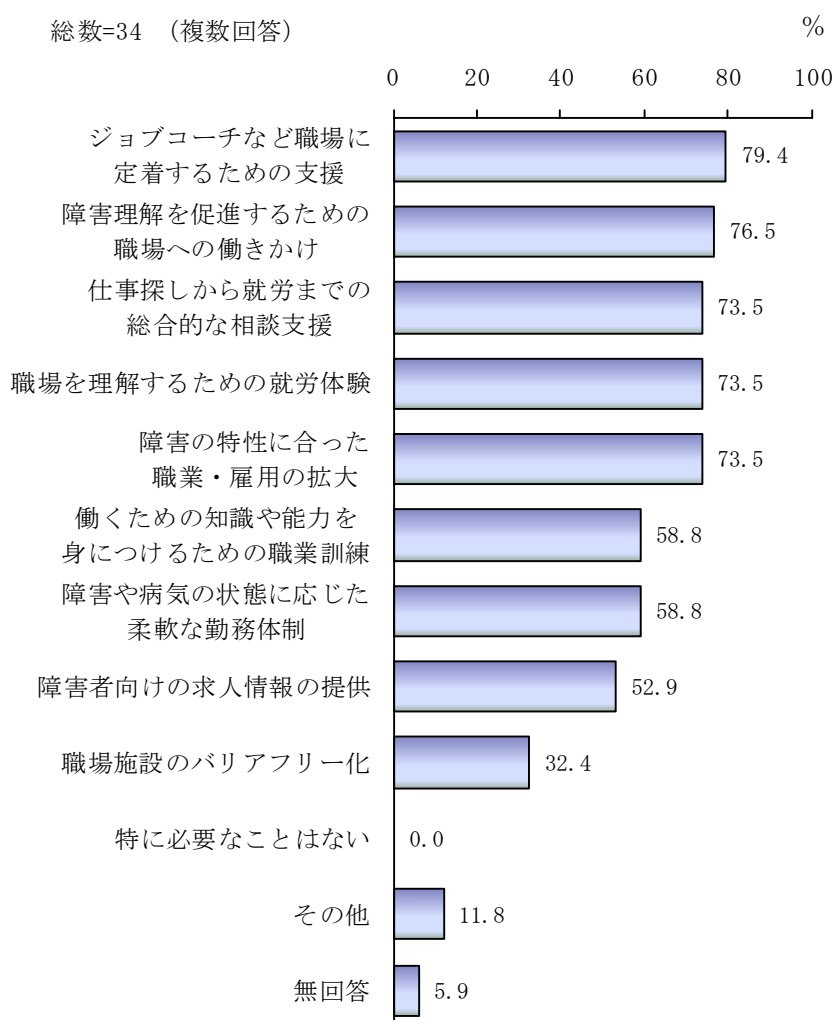


（３）一般就労のために必要なこと

問 31 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「ジョブコーチなど職場に定着するための支援」が 79.4%、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が 76.5%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、「職場を理解するための就労体験」、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」がそれぞれ 73.5%となっています。

問 31 一般就労のために必要なこと



7 サービスの利用について

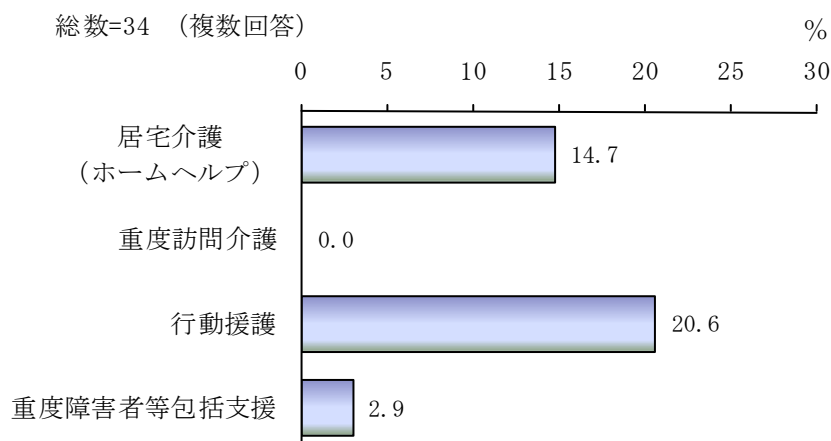
(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 32 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

訪問系サービスを利用しているという回答はありませんでした。

利用したいサービスについて見ると、「行動援護」が20.6%、「居宅介護（ホームヘルプ）」が14.7%となっています。

問 32 訪問系サービスの利用意向



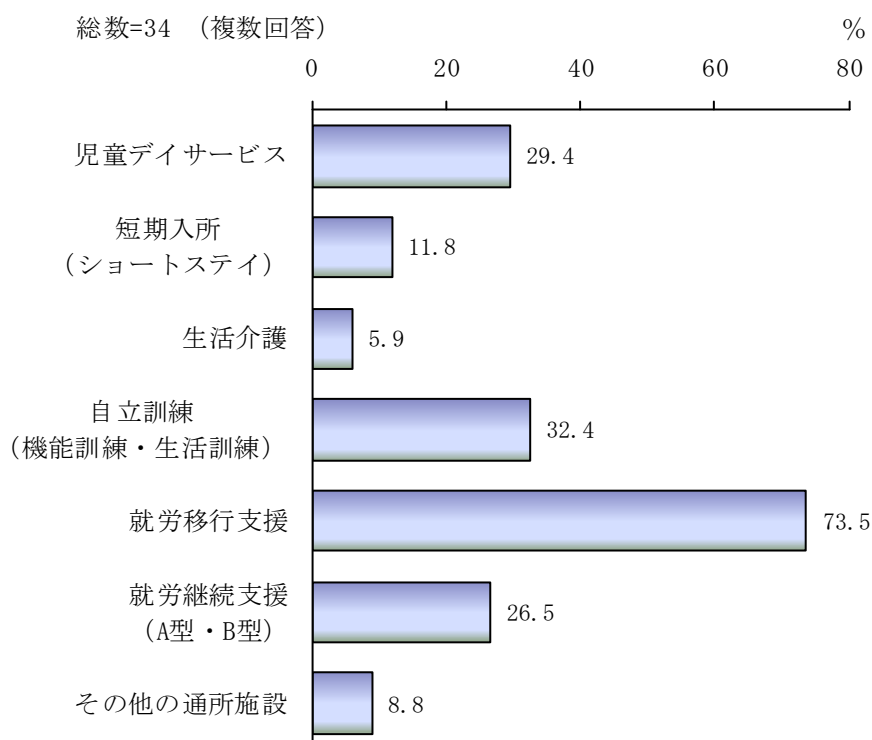
（２）日中活動系サービスの利用状況・利用意向

問 33 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

日中活動系サービスを利用していると回答した方は５人で、「児童デイサービス」、「就労移行支援」がそれぞれ２件、「短期入所（ショートステイ）」が１件となっています。

利用したいサービスについて見ると、「就労移行支援」が 73.5%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 32.4%、「児童デイサービス」が 29.4%、「就労継続支援（A 型・B 型）」が 26.5%となっています。

問 33 日中活動系サービスの利用意向



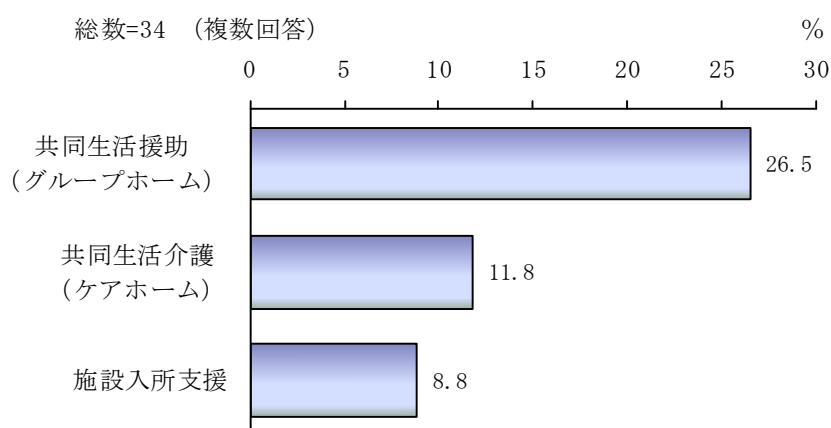
(3) 居住系サービスの利用状況・利用意向

問 34 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

居住系サービスを利用しているという回答はありませんでした。

利用したい居住系サービスについて見ると、「共同生活援助(グループホーム)」が26.5%、「共同生活介護(ケアホーム)」が11.8%、「施設入所支援」が8.8%となっています。

問 34 居住系サービスの利用意向



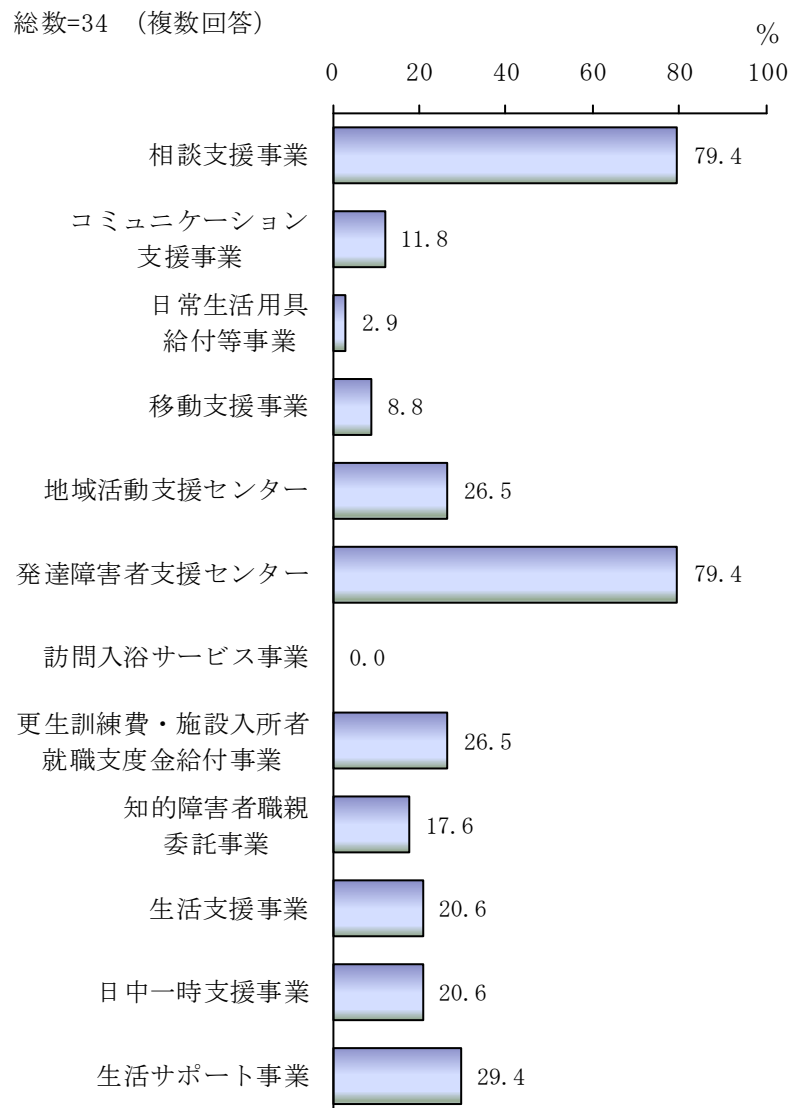
(4) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

問 35 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

地域生活支援事業を利用していると回答した方は6人で、「発達障害者支援センター」が6件、「相談支援事業」が2件、「日中一時支援事業」が1件となっています。

利用したいサービスについて見ると、「相談支援事業」と「発達障害者支援センター」がそれぞれ79.4%、「生活サポート事業」が29.4%、「地域活動支援センター」と「更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業」がそれぞれ26.5%となっています。

問 35 地域生活支援事業の利用意向



（５）福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成の利用状況

問 36 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（あてはまるものひとつに○）

利用していると回答した方は 2 人で、「福祉タクシー利用券（黄色券）」と「自動車燃料券」がそれぞれ 1 件となっています。

（６）福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成の利用目的

問 37 問 36 でいずれかの券を利用している（１～４番）と回答した方にお聞きします。
タクシー券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答した方は 2 人で、「通勤・通学」が 2 件、「医療機関への通院」と「買い物など日常の用事」がそれぞれ 1 件となっています。

（７）自動車燃料券を選んでいる理由

問 38 問 36 で自動車燃料券を利用している（４番）と回答した方にお聞きします。
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（最もあてはまるものひとつに○）

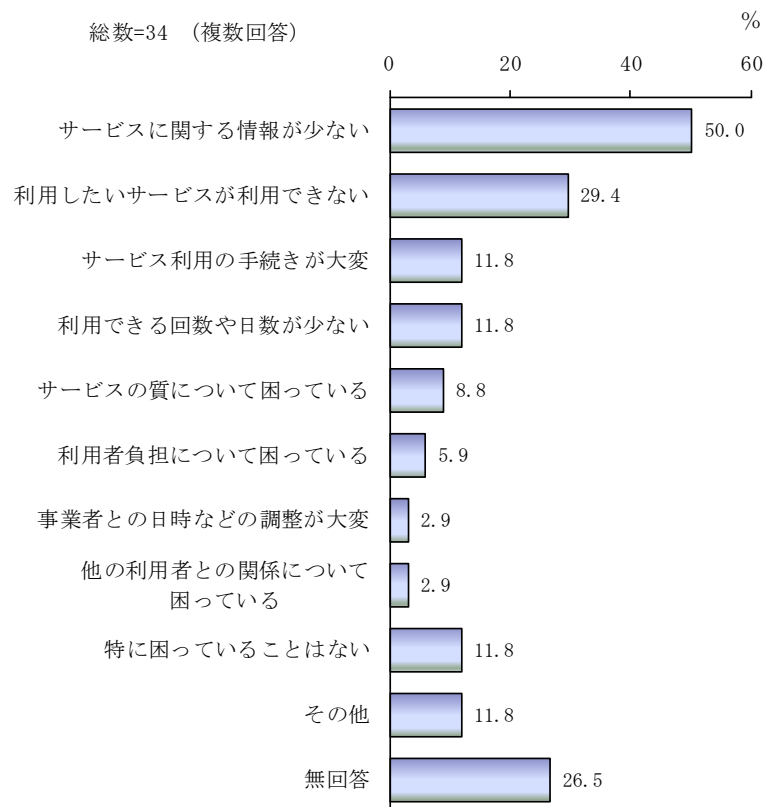
回答した方は 1 人で、「家族などが運転する車で移動することが多いから」と回答しています。

(8) サービスを利用する上で困っていること

問 39 あなたやご家族の方には、障害福祉サービスなどの利用に関して困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「サービスに関する情報が少ない」が 50.0%、「利用したいサービスが利用できない」が 29.4%、「サービス利用の手続きが大変」と「利用できる回数や日数が少ない」がそれぞれ 11.8%となっています。

問 39 サービスを利用する上で困っていること

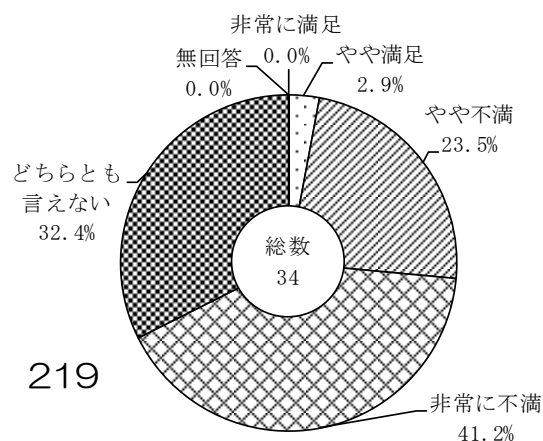


8 市の障害者施策について

問 40 あなたやご家族の方は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。(あてはまるものひとつに○)

「やや満足」が 2.9%、「やや不満」が 23.5%、「非常に不満」が 41.2%となっています。

問 40 市の障害者施策について



9 自由意見

問 41 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

自由意見には、25 件の回答をいただきました。「行政・制度」に関する意見が 68.0%、「療育・教育」に関する意見が 64.0%、「福祉サービス」に関する意見が 40.0%となっています。

問 41 自由意見

	全体	福祉サービス	医療・健康	療育・教育	雇用・就労	将来について	行政・制度	その他
全体	25 100.0	10 40.0	6 24.0	16 64.0	8 32.0	7 28.0	17 68.0	7 28.0

※ 複数の分野にわたる回答が多いため、意見数の合計は回答数を上回っています。

◆ 自由意見の概要 ※ 紙幅の関係で、内容を抜粋・要約している場合があります。

① 福祉サービス（10 件）

手帳のない発達障害者のサービス利用に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
現在の福祉サービスは発達障害者のニーズに対応していません。発達障害といっても人それぞれなので、私たちの障害を正しく判定し、必要な部分を支援してくれるシステムがほしいです。（手帳のない発達障害者のサービス利用に関する意見：5 件）	25 歳 女性 (家族)
サービスもあるようですが、使えるのか、使ったら家族の仕事や本人の将来がどうなるのかわからず不安です。使うと障害を公表しなくてはならないのかと内心思っています。	8 歳 男性 (家族)
今まで福祉サービスを受けてこなかったが、経済的にも体力的にも家族の負担が大きく、今後は手帳を取得し、サービスを受けたいと思う。	10 歳 男性 (家族)

② 医療・健康（6件）

医療費助成に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
障害に関する医療費の支援はありますが、内科・外科など医療全般の支援も必要です。もしくは健康保険料の無料化なども考えていただきたい。	29 歳 女性 (家族)
息子は1歳から長期の入院生活に入ってしまった。入院生活や療養生活が長く続いているため、体験不足などもあり、他の子と比べ、かなり幼い感じに育ってしまいました。親としては息子の将来のことが大変不安です。	17 歳 男性 (家族)

③ 療育・教育（16件）

療育の充実に関する意見や、教職員の指導・支援に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
乳幼児健診を介して紹介されるのは療育センターのみで、発達障害者の抱える問題は様々なのに、障害特性に合わせた対応ができていない印象がある。保育ルームを併設したり、民間でも療育の受け皿ができて、お互い競って向上できるようになれば良いと思っています。(療育の充実に関する意見：3件)	6 歳 男性 (家族)
教職員の理解が足りないのではないかと思います。何も知らなくても、教えられなくても、人間的に優しく、いろいろな生徒のことを考えられる先生もたくさんいらっしゃいますが、普通と感覚の違う子どももいることを理解することが、全ての先生の共通認識となれば、すいぶん違うのではないかと思います。	14 歳 女性 (家族)
障害児を指導できる教員を育て、教員の人数も増やしていただくことで、健常児、障害児の教育のバリアフリーを少しでも実現できればありがたいと思います。そうすることで、将来的に社会での障害者に対する偏見や差別も少なくなると考えます。	11 歳 男性 (家族)
発達障害における早期発見・診断・支援を、学校・教育の場で活かすことはできないでしょうか。教育現場における支援、先生方へのサポートを含め、コーディネーターの方や専門知識のある方の介入が必要と感じます。不登校になってからのサポートを充実させるだけでなく、不登校にさせない努力を皆でできないでしょうか。小中学校時代にサポートできると、予後は良いほうに向かっていくと思います。	12 歳 男性 (家族)
中学校の特別支援学級に入学しましたが15人もいろいろなタイプの発達障害の人がいるのに、先生が1人か2人では無理があります。学校が遠くて疲れます。近くの学校でもっと少ない人数で勉強したいです。(教職員の指導・支援に関する意見：8件)	13 歳 男性 (本人)
手帳のない軽度の発達障害児は、進学も就労も健常児と同じように自力でがんばっている方がとても多いのが現状です。ソーシャルスキルトレーニング等も自費で受けている家族もたくさんいますが、経済的負担も大きく、受けられる回数が制限されるため、思ったように効果が上がらないこともあります。自費による療育、診療に対する助成金があると、とても助かります。	14 歳 女性 (家族)

④ 雇用・就労（8件）

雇用の場の確保に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
知的障害を伴わない子どもの高校、またその後の就労支援の場がほとんどありません。あっても短期で、すぐに就労にはつながりません。高機能自閉症、アスペルガーのための支援、訓練の場所がもっと必要です。	19 歳 男性 (家族)
将来、自分で働いて、自立した生活を送ってくれることを強く願っています。行政には、本人の得意な面を伸ばし、適職と一緒に考えていただきたいです。企業のニーズに合ったコーディネートをしてくれる人を増やしてほしいです。	17 歳 男性 (家族)

⑤ 将来について（7件）

親亡き後の支援に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
親が高齢に達し、一番の不安は親亡き後の本人の日常生活です。どのような支援があり、どんな方法で受けられるのか、その情報がほしい。	29 歳 女性 (家族)
第一にお願いしたいことは、最低限生きていくためのルールを整備していただきたいということです。親が活着ているうちは同居させますが、親が死んだ後に独力で生きていくことは不可能であり、生きていけるようにするには救済措置が必須です。そのようなルールの実現は、社会が認知するところから始まるのだと思います。現状では、全く理解されていないのが実情です。	15 歳 男性 (家族)

⑥ 行政・制度（17件）

相談機関の拡充に関する意見や、発達障害者の手帳発行・支援の充実に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
幼児から成人まで一貫した相談機関の拡充を望みます。また、担当者の転勤等で説明しなおすのは大変なので、担当者を代えないか、代える場合は丁寧な引き継ぎを希望します。	11 歳 男性 (家族)
知的、精神のどちらでもないため、手帳を取得できませんでした。障害であっても手帳がないと訓練センターも利用できません。発達障害者の手帳をつくってもらうか、支援してもらえるようにしてもらいたい。	23 歳 男性 (家族)

⑦ その他（7件）

発達障害の理解促進に関する意見や、経済的支援に関する意見などがありました。

主な意見の概要	年齢 性別
発達障害は目に見てわかる障害ではないため、なかなか理解してもらえないことに特徴があります。もっと一般の人にもわかってもらえると、生きて行きやすいのではないかと思います。先生方や雇用主の方に、少しでもわかってもらえると良いと思います。	16 歳 女性 (家族)
小さいときからとてもお金がかかる子で、いろいろやってきましたが、お金をかけないと育てられないのが現状だと思います。経済的な援助を待っている人はたくさんいると思うので、検討してほしいと思います。	10 歳 男性 (家族)